

H. P. Report

スパイウェアについて (1)

スパイウェアというものがあります。スパイというと、知らないうちに入り込んで、気づかれないうちにいろいろな情報を自分の味方のほうに流す仕事をする職業(?)ですが、スパイウェアもそんなアプリケーションです。つまり、パソコンを使うユーザの行動や個人情報などを収集したり、CPUの空き時間を借用して計算を行ったりするアプリケーションです。CPUの空き時間を使って勝手に計算をするぐらいならいいのですが、問題は、ユーザの行動や個人情報などを収集して、得られたデータをマーケティング会社などに知らないうちに送ってしまうことです。このようなものがスパイウェアなのですが、ウィルスのようにはまだそれほど問題になっていないこともあって、あまり身近でないような気がしますが実際はどうなのでしょう。

実はスパイウェアにも2種類があります。というのも、一般に販売されているアプリケーションにも組み込まれているものもあり、この場合は実はインストール時に表示される利用条件の中に書かれていて、インストール時にこれを承認しているためスパイウェアの動作を問題視するわけにはいきません。それともう1つは、悪意を持って物で、それこそ知らないうちに侵入して、勝手に個人情報を別のところに送ってしまうものがあります。この場合は完全に法律的にも問題のある悪質なアプリケーションということができます。

では、どうしてこのようなスパイウェアが登場して、また、問題にされ始めたのでしょうか。実際プログラムを作った人なら思ったことがよくあるのではないのでしょうか、自分のプログラムに隠れた機能を追加してみたいという誘惑が。表からわかるような動きはしないのですが、ある条件がそろったときだけ動くようなプログラムは、組み込んでしまおうとすれば、ほかの人がわからないように組み込んでしまうことができます。一方、アプリケーションを販売するメーカーとしては、販売したソフトウェアがどのように使われているか、どの程度の頻度で、どのような機能がどう使われているかといった情報はほしいものです。プログラムの誘惑で組み込む機能ではないのですが、組み込み方としては同じ様なものなのがアプリケーションに組み込まれたスパイウェアです。わからないときにこっそり動いているわけですし、このごろはほとんどのパソコンがネットワークにつながっているわけですから、メール機能で送ったり、IPを指定してファイル転送したり、Web機能を利用して送ったり自由にできるわけです。前にも書きましたが、無断でこの機能を組み込み利用するわけには行きませんから、一応利用条件に書いてはありますが、この利用条件をきちんと読む人がほとんどいませんから、このような機能が組み込まれているとは誰も気づいてはいないのではないのでしょうか(実際、インストール時に利用条件に書かれているからといって、インストールしないわけにも行きませんし、機能を組み込まないほうが選択できるようになっているのを見たこともないのですが)。ただし、これはアプリケーションに組み込まれているもので、一応ことわってわけですから問題は無いのですが、それより問題になってきているのが、知らないうちにパソコン内の個人情報を、勝手に特定のところに送り込んでいるものです。ところで、スパイウェアということの説明していますが、実際この言葉が完全に認知されたものであるかどうかということ、ほかにトロイの木馬やハッカーツールなどと総称して「ペスト」といったりすることがあり、範囲もあやふやなところがあります。(次回に続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 6月7日号

特集 電子産業 北京五輪への胸算用

→2008年の北京五輪に向かって、電子産業はデジタル家電を中心に久しぶりに活況を取り戻し始めている。コア部品を内製し、徹底的に抱え込もうとしている。

解説 熱くて持てないケータイに超小型ファンが載る日

→ケータイが熱くなっている。自然空冷では耐えきれず、空冷ファンを乗せることがメーカーでは検討され始めている。

○日経パソコン 6月7日号

特集 教え上手と言われたい

→パソコンに関する質問に対してどうしたらきちんと説明できるか。パソコンについてたくさんの知識を持っていても、他人にわかり易く説明することはできない。教え方のコツや教え上手になるためのノウハウを研究する。

特集 Virtual PC徹底ガイド

→最新パソコンで古いパソコンのアプリケーションを動かすためのVirtualPCやVMWareなどのエミュレータ。実際の使い心地はどの程度なのか。

○日経システム構築 6月号

特集 さらば32ビット

→32ビットのネットワークOSであるWindowsNT3.5が登場して10年。データの大容量化、トランザクションが増加する中、32ビットでは限界が見えてきた。年内に64ビット製品が出揃い環境が整う。64ビットで何がどう変わるか。

○DOS/V magazine 7月1日号

特集 激突!GeForce6800vsRADEONX800

→ビデオカード両雄の対決。発売も近く、性能も拮抗している。果たしてどちらを選んだらいいのか。